

## 道路復旧工事における不適切な路盤材の使用について

この度、弊社が東京ガスおよび京葉ガスから受注したガス導管工事に伴う道路復旧工事において、工事請負契約の仕様に指定された路盤材とは異なる材料を使用していたことが判明いたしました。

社内調査を実施した結果、以下に記載する地域の350件の道路復旧工事において、不適切な路盤材を使用して道路の埋め戻しを行っていたことが判明し、行政及び関係先にご報告いたしました。

弊社と致しましては、このような不適切な施工を行っていたことを大変重く受け止めており、関係者の皆さまに多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後、関係者の皆さまのご指導を踏まえて、徹底した調査、原因究明を行い、再発防止策を速やかに実施してまいります。

### 記

#### 1. 概要（経緯と件数）

本年9月26日に、弊社施工中の現場において、工事請負契約において指定された材料（再生粒度調整砕石）と異なる路盤材（再生クラッシャーラン）を使用していたことが判明し、東京ガスにご報告いたしました。

その後、2016年4月以降に施工した477件（東京ガス向け463件、京葉ガス向け14件）の道路復旧工事を調査したところ、このうち350件（同337件、13件）で不適切な路盤材が使用され、その上で事実と異なる落成検収図書を東京ガス及び京葉ガスに提出していたことを確認いたしました。

#### 2. 対象地域

不適切な施工が行われた地域は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県および茨城県であり、該当する関係先には、既にご報告を差し上げております。また、弊社は、他地域においても同種工事を施工しておりますが、社内調査の結果、現時点で上記地域の他には不適切な施工は見つかっておりません。

#### 3. 安全性と当面の対応

不適切な路盤材を使用した施工案件については、舗装のひび割れなどの不具合が発生していない事が確認されております。しかしながら、工事請負契約で指定された路盤仕様と異なることから、今後の対応については専門家の知見を得つつ、行政及び関係先の皆さまとの協議を踏まえて適切に対応してまいります。

また、現在施工中の案件については、契約仕様に則した適切な路盤材を使用していることを確認しており、今後も品質管理を徹底してまいります。

#### 4. 発生原因

弊社では、10月初旬に調査委員会を立ち上げ、徹底した調査、原因究明、再発防止策の策定を進めております。

これまでの社内調査から、弊社の都市ガス工事部門における①路盤材の要求仕様に関するコンプライアンス意識の希薄さ、②現場監督に対する路盤材の特性等に関する教育の不足、③路盤材の調達に関する管理の不足等を背景に、現場監督の施工時間遵守の意識が強く働きすぎた事が主な原因と考えており、これらを11月中旬に東京ガスおよび京葉ガスへご報告しております。

#### 5. 再発防止策

関係者の皆さまのご指導を踏まえて、今後、以下の再発防止策を速やかに策定し、徹底してまいります。(以下①については、施工中案件で既に改善しております。)

- ① 調達業務フローの改善（路盤材の仕様・数量の書類確認徹底、上位者による管理事項の明確化）
- ② 法令・契約仕様・ルール遵守、不適切行為撲滅のための再教育
- ③ 路盤材の特性等に関する再教育
- ④ ガス工事現場作業に関する課題について関係先との連携・共有と改善策の検討・実施

今後、弊社の品質管理のあり方を徹底的に検証し、このような問題を二度と起こさないよう万全の対応を講じる所存です。関係先の皆様にご多大なご心配、ご迷惑をおかけしておりますことを重ねてお詫び申し上げます。

以上

##### <お問い合わせ専用窓口>

##### 日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社

◆プレスリリースに関するお問い合わせ

電話 03-6865-6002

e-mail : [info-company@nspe.nipponsteel.com](mailto:info-company@nspe.nipponsteel.com)

総務部 総務室（担当）鈴木／東

◆お客様ご相談窓口

電話 03-6865-6740

都市ガス事業部 営業部（担当）楠瀬／小宮

【参考資料1】 再生粒度調整碎石・再生クラッシャーランの違いと施工事例

RM (再生粒度調整碎石) RC (再生クラッシャーラン)

- ・RM (再生粒度調整碎石)、RC (再生クラッシャーラン) は、アスファルトやコンクリート等の建設廃材を破砕したものである。RCは基本的には割りっぱなしが一般的。RMは小さな粒を決められた量を加えて調整している。
- ・路盤材料としての品質等は「舗装再生便覧；日本道路協会」に示されている。
- ・粒度分布、最大粒径をあわせて表記する。(例) RM-40 (粒径40mm以下のもの)
- ・ふるいを通るものの質量百分率(%)

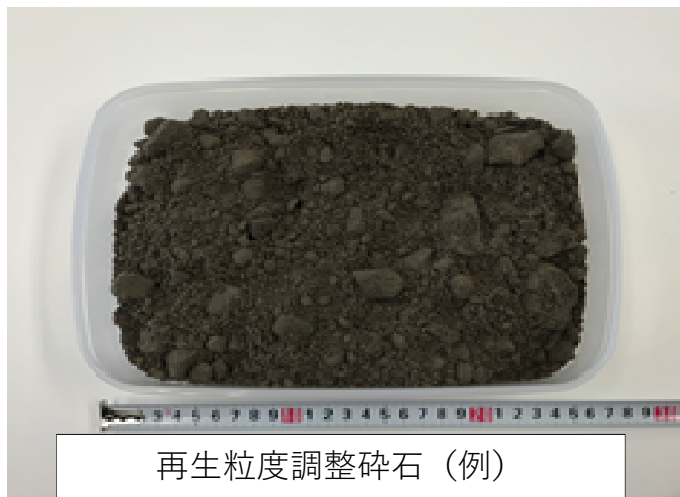
呼び名	粒度範囲	公称目開き(mm) ※1								等値換算計数 ※2
		50	40	30	20	5	2.5	0.4	0.08	
RC-40	40~0	100	95~100	-	50~80	15~40	5~25	-	-	0.25
RM-40	40~0	100	95~100	-	60~90	30~65	20~50	10~30	2~10	0.35

※1：JIS Z8801-1による。

※2：1cmの厚さのアスファルト (基層用加熱アスファルト混合物) に換算すると何cmに相当するかを示す値。



RM-40の施工例

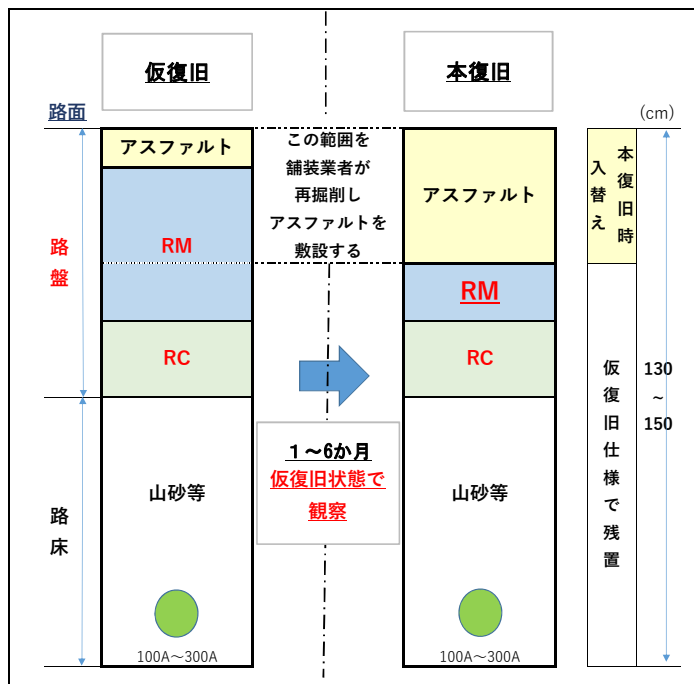


再生粒度調整碎石 (例)

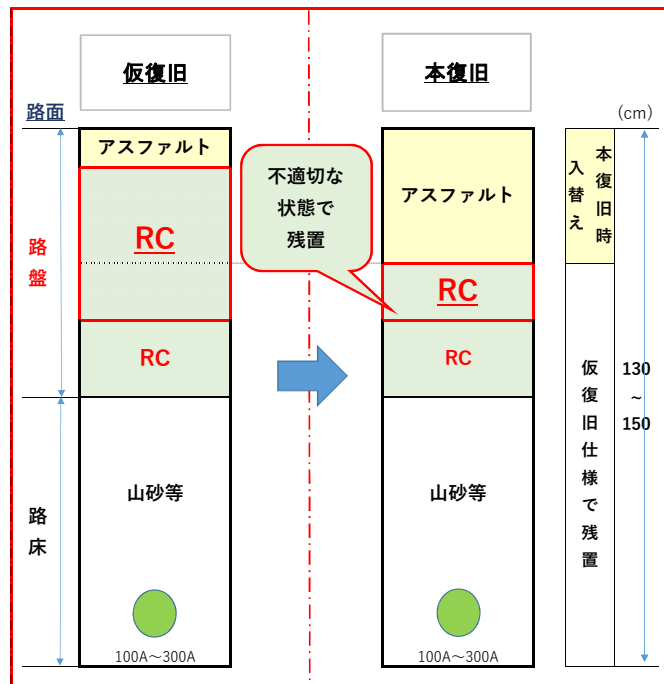


再生クラッシャーラン (例)

指定された仕様の例

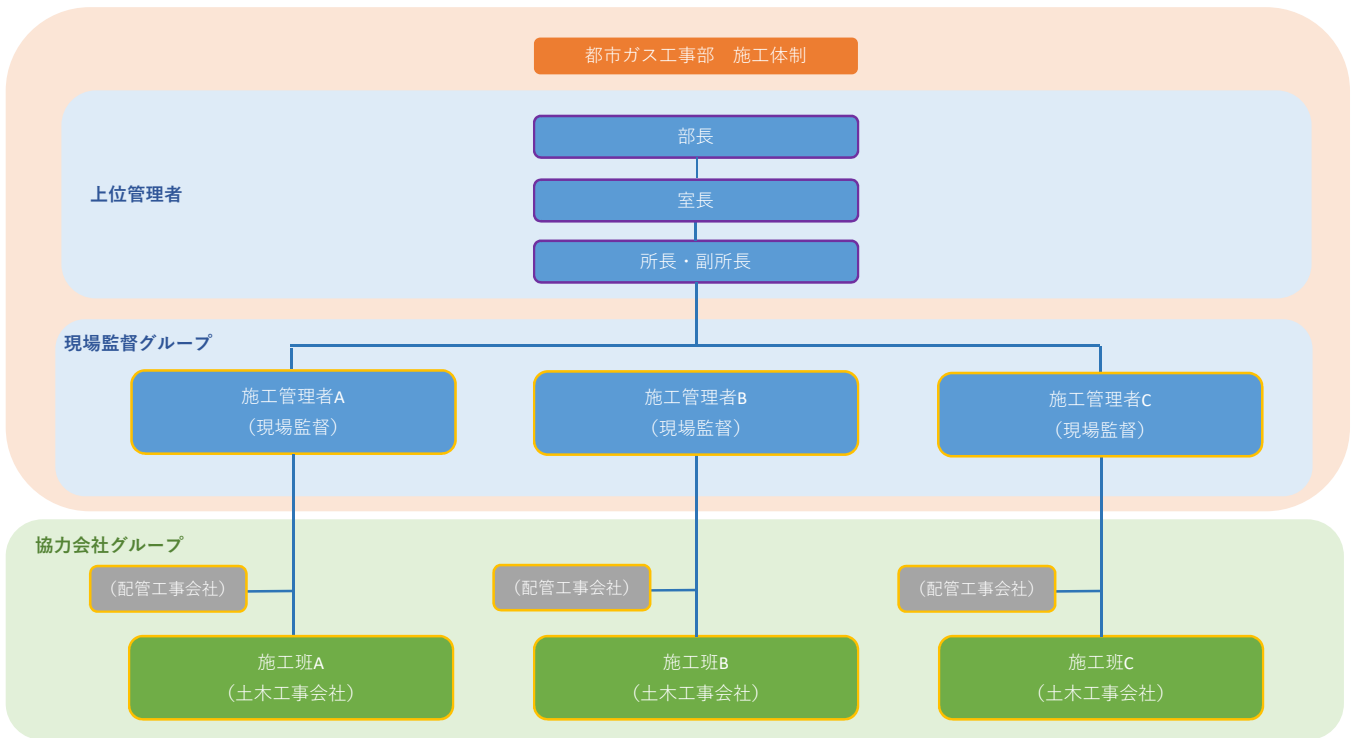


不適切施工の例



【参考資料2】

○都市ガス工事部の施工体制



○一般的な都市ガス工事の現場の流れ

